



2025年度  
第23号

# 体育市民連帯 ニュースレター

数十年間、革新のない  
体育界の人事は  
1 終わり！  
[なぜなら]



児童権・間性・憎悪犯罪  
「スポーツ人権用語集」  
2 韓国語版が  
登場



スポーツエージェント協会  
3 幼少年サッカー指導者の  
言語暴力・人権侵害根絶の  
対策作りを促す



200億の  
4 都体育会予算  
監査制度化  
すべき



54年の足跡  
5 少年体育大会が  
歩んできた道と  
進むべき道



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？



\*

## 01 김·ヒョンス 體育市民連帶執行委員長 2025. 06. 16

## 数十年間、革新のない體育界の人事は終わり！ [なぜなら]



「体育人」はメダリストなどエリートスポーツ選手だけを称していない。にもかかわらず、大韓体育会長（柳承敏）、国民体育振興公団理事長（河炯柱）、文化体育部第2次官（張美蘭）など、元スポーツ界の要職をエリートスポーツ選手が独占している。

これまで彼らの「国威宣揚」が公職につながり、国民体育発展に残したことはスポーツ先進国とは多少距離があったという点を想起する必要がある。

学校の体育現場では運動部と体育教育が分離され、青少年の身体活動率が経済協力開発機構(OECD)最下位という恥をかかされ、スポーツの未来を計る草の根スポーツの底辺は種目の生存を心配するほどに追い込まれた。このような危機にもかかわらず、少子化による人口減少のせいばかりにする無能力も、もはや見過ごすことはできない。

公共体育施設は、いわゆる選手たちの専有物になって、生活体育人たちが舌鼓を打つ状況だ。生活体育人口の急激な増加にも関わらず門を大きく開けられない公共体育施設と学校体育施設の問題点は指摘できず、依然として施設は区分されていなければならないという認識に埋もれて「国民体育センター拡充」だけを主張する問題解決方法も同じだ。

世間に背を向ける被害者が出ているスポーツ暴力問題も、自分が属している集団からの指弾を恐れて、それが構造的な問題だと言うことをはばかり、個人の逸脱として片付けることを繰り返し、夕立を避けることだけに汲々としてきた。そのため、この問題は体育界自ら自浄作用のゴールデンタイムを逃し、旧態と誤った慣行が固定する状況を迎えた。

最近では国会議員、大韓体育会長を問わず「出席認定欠席許容日数」拡大、最低学力制廃止、合宿所復活を明らかにし学生選手の学習権保障まで逆らうなど、自分たちが踏み上がった栄光の裏面で人生の多くを失った人々の痛みを共感できずにいる。たった5%にも満たないスポーツ選手としての成功の裏で繰り返される「悲惨な」引退後の人生などは彼らの関心事ではないのだ。

これに対し、すべての分野での民主主義と人権の復元を信じて選出したイ・ジェミョン大統領の国政哲学が、過去の体育界に蔓延した旧態を踏襲するものではないことを切に願う。進歩と保守を問わず毎回そうしてきたように専門家ではない「メダリスト」を「座らせて」置く体育界の人事ならば、政府が体育とスポーツをあまりにも簡単に考えているという傍証であり専門性に対する無視であろう。

体育は高度の競争だけがあるのではなく、低い水準の競争もあり、国民健康、国民統合ともつながっており、青少年の全人教育と正しい価値観の形成、そして人権、価値を全て包括する専門分野だ。それだけでなく、経済成長を共に牽引するスポーツ産業は、様々な分野との協業と高度な専門性を要する分野だ。新政府の体育政策の青写真は、それこそ大統領の革新的な認識を土台に、体育に対する専門的力と多様な構成員の要求を新部隊にきれいに盛り込むことであることを望む。

出典：<https://www.hani.co.kr/arti/opinion/because/1203120.html>

## 02 女性新聞 2025. 06. 16

### 児童権・間性（インターセックス）・憎悪犯罪・・・ 「スポーツ人権用語集」韓国語版が登場



スポーツ人権研究所が国際機関であるスポーツ人権センター (Center for Sport & Human Rights) の「スポーツ人権用語集 (Sport and Human Rights Glossary)」を翻訳し、13日に配布した。

用語集はスポーツ界の多様な利害関係者たちが共通の理解を土台に明確に疎通するために作られた。スポーツ人権運動と関連してよく使われる51の用語が収録された。用語ごとに簡略な定義と説明、代替用語または関連用語、適切な使い方のための指針が提供される。

スポーツ人権研究所は「スポーツ分野の構成員と行為者が用語を明確かつ適切に尊重を込めて使用するよう奨励し、使用する言語と用語に対する省察と改善方を模索することが目標」と明らかにした。

また「韓国でもスポーツ分野の明確で適切で尊重を盛り込んだ用語使用と理解がスポーツ人権運動のために重要だと判断し翻訳作業を進めた」として「スポーツおよび人権専門家の監修を受けて作業を完了した」と説明した。

用語集はファイルで提供され、言語や理解、用法の変化によって追加意見と修正が反映されることがある。スポーツ人権研究所のホームページからダウンロードできる。

出典：<https://www.womennews.co.kr/news/articleView.html?idxno=263711>

## 03 スポーツワールド 2025. 06. 17

### 韓国スポーツエージェント協会

#### 「幼少年サッカー指導者の言語暴力・人権侵害根絶のための対策作りを促す」



韓国スポーツエージェント協会が持続的に発生した幼少年サッカー指導者の言語暴力および人権侵害に対して憂慮を示し、実質的な対策準備を促した。

協会は「最近、国内幼少年サッカー現場で児童を相手にした言語暴力、金品要求、不当な訓練環境造成が繰り返されている現実に深い憂慮を表わす」として

「これは単純な逸脱ではなく構造的問題だ。一部の指導者が学生選手を「成績のための道具」または「経済的手段」と認識しているという点で、その深刻性は非常に大きい」と17日伝えた。

続けて「特に1種および2種幼少年チーム指導者の一部は暴言をためらわずに特定選手を猛暑の中で放置したりチーム全体の前で持続的に叱責するなど児童の情緒と人格を深刻に傷つける行為を続けている。

これは明白な人権侵害であり、いかなる理由でも正当化できない」と強調した。

協会は「学生選手は単に記録を出すための存在ではない。彼らは夢を育てながら成長する大切な子供たちだ。指導者は子供たちが安全で健康に成長できるように保護し、導く責任がある。いかなる形の暴力と搾取も容認されてはならない」と述べた。

協会は要求事項として▲大韓サッカー協会の幼少年指導者の言語暴力および金品要求に対する実態調査施行および措置▲指導者資格維持条件に「児童人権保護教育」および「暴力予防教育」履修を義務▲「未成年者言語暴力根絶キャンペーン」および「体罰禁止宣言運動」展開および選手保護中心の文化を定着などを発表した。

協会は大韓民国スポーツの未来は幼少年選手たちにかかっている」として「子供たちがサッカーを通じて夢を育てる過程で傷つかず尊重され成長できるように今は言葉ではなく実践が必要だ」と力を込めて伝えた。続けて「大韓サッカー協会、教育庁、学校、保護者、そしてサッカー界全体が共に責任感を持って行動に出なければならない時だ」と話した。

出典：<https://www.sportsworldi.com/newsView/20250617509816>

## 04 慶南新聞 2025. 06. 22

### 「200億の都体育会予算、監査制度化すべき」



毎年莫大な道費が投入される慶南道体育会に定期総合監査を制度化しなければならないという声が道議会から出ている。

朴ビョンヨン(金海6・国民の力)議員は20日、第424回道議会定例会第4次本会議5分自由発言で「慶南道体育会と関連して毎年運営全般に現れる予算執行不適正、会計管理不良、人権侵害問題などは道民の信頼を脅かしている。毎年莫大な道費が投入されるが、2012年以後も監査委員会次元の総合監査は一度も実施されなかった」とし、このように明らかにした。2025年基準の慶南体育会の総予算は約275億ウォン、このうち75.3%である207億ウォン程度が道費補助金で構成されている。朴議員は「所管部署の補助金精算検査では、合宿訓練費と高校体育育成費の不適正執行問題が繰り返し指摘されており、昨年の道議会では次期年度繰越金と翌年の前年度繰越金が合わない会計管理不良問題が俎上に載せられた。その上、昨年7月に発生した体育会所属監督の選手暴行事件は今年になって知らされ、加害監督は9ヶ月が過ぎてようやく辞職届を出し、被害者は選手生活をあきらめた」とし体育会内部管理システム問題を強く叱責した。

朴議員は「慶南体育会が体育振興を越えて地域社会統合に寄与する機関に生まれ変わるためには運営責任性と透明性確保が何より重要だ」とし、△定期総合監査制度化△公共機関水準指導点検および事後管理体系作り△人権保護強化のための規定整備△道次元の独立的な申告窓口および被害者保護体系整備などを提案した。

さらに7人の議員の追加5分間の自由発言で、白テヒョン(昌原2、国民の力)議員は高齢者雇用の開発設計を、李ヨンス(梁山2、国民の力)議員は農協の経済事業拡大を通じた組織の現身を主張した。金テギョ(統営2、国民の力)議員は高水温被害を防ぐための汎政府次元の対応体系構築と地方自治体・水産業協同組合の現場指導点検強化、飽和状態に達した養殖漁業権縮小提案を、ノ・チファン(比例・国民の力)議員は昌原国家産業団地造成で追い出されるように移住した昌原住民のための記念空間造成を促した。リュ・ギョンワン(南海・民主党)議員は再生可能エネルギーの活性化のために発電収益を地域住民と分けるモデル導入を、クォン・ウォンマン(宜寧・国民の力)議員は慶南消防教育訓練場の消防学校昇格、チャン・ジンヨ

ン(陝川・国民の力)議員は生活人口拡大戦略として西部慶南に地域住民と交流するスポーツビレッジを造成することを提案した。

出典：<https://www.knnews.co.kr/news/articleView.php?idxno=1463599>

## 05 嶺南日報 パク・ヨンギ大邱市体育会長 2025. 06. 23

### 54年の足跡、少年体育大会が歩んできた道と進むべき道



毎年5月に開かれる全国少年体育大会は、成長する青少年たちが汗と情熱を注ぐ舞台だ。今年で54回を迎えた全国少年体育大会は5月24日から27日まで慶尚南道金海市一帯で盛況裏に開催された。大邱市選手団は陸上など35種目に1,177人が参加し、計94個のメダルを獲得し、地域体育の底力を再び見せてくれた。

全国少年体育大会は1972年「体も丈夫、心も丈夫、国も丈夫」というスローガンの下、スポーツ少年団創設を記念して開かれた「全国スポーツ少年団大会」でその起源を見出すことができる。当時、初等部11種目、中学部19種目で始まった大会は、基礎体育活動を通じて健康な身体と精神を涵養し、有望選手の早期発掘を目的に企画された。

1975年第4回釜山大会を基点に名称を「全国少年体育大会」に変更し、市・道開催の形態を整え本格的な全国単位の体育行事に発展した。当時、忠清南道が総合1位を占めるなど、地域間の善意の競争を誘導し、有望株育成の産室として位置づけられた。

しかし、成長の痛みも確かに存在した。市・道間の過熱競争、授業欠損、進学問題、そして開催地の財政負担などの副作用が台頭し、1989年から1991年までは地域単位で縮小運営されもした。これは全国規模大会の縮小が体育活性化と優秀選手発掘の側面で否定的な影響を及ぼすという指摘が提起され、結局1992年から再び全国大会として復活することになった。

その後も変化のための多様な試みが続いた。1994年からは全国体育大会を開催した市・道が翌年少年体育大会を開催するようにして準備条件を効率化し、2010年には夏休み期間中に開催を試み学習権保障に対する社会的要求に応答したりもした。しかし、猛暑や梅雨などの季節的な問題によって、再び5月の開催に戻る紆余曲折を経験した。

全国少年体育大会はエリートスポーツシステムの出発点として長年機能してきた。この大会を通じて発掘された選手たちが全国体育大会、アジア大会、オリンピックにつながる国家代表連携育成は誰も否定できない。

しかし、このような構造の裏には成績至上主義と選手人権侵害、体育界内暴力など陰も存在してきた。特に学齢人口の減少と地域間の不均衡によって、一部の種目や地域では選手を構成することさえできない現実的な制約もますます明確になっている。また、全国少年体育大会を廃止し、高等部を全国体育大会から分離させ、小・中等部とともに全国学生体育大会に転換しようという議論もあった。

これは競技力中心の体育を止揚し、よりバランスの取れた学生体育活性化を図ろうという趣旨で提起されたが、地域体育基盤の弱体化と早期選手育成システムの崩壊憂慮でまだ実現されていない。

このような流れの中で全国少年体育大会はその存在理由と運営方式に対する根本的な省察が必要な時点に到達した。単純に優秀選手発掘のための大会を越え、すべての学生がスポーツを通じて健康な身体と社会性を育てられるよう方向転換と大会参加と学業の並行システムの中で運営全般の再構造化の必要性も台頭している。特に、地域間インフラの違いによるアクセシビリティの問題や、種目間支援の不均衡の問題もともに改善されなければならない。

もう全国少年体育大会は「勝敗」中心の構図を越え、「過程」中心の教育的価値と「参加」中心の包容性を盛り込まなければならない時だ。ただ一人のメダリストではなく、すべての子供たちがスポーツを通じて笑って成長する場にならなければならない。それが真の有望株たちの祭り、そして韓国体育の持続可能な未来のための第一歩になるだろう。

出典：<https://www.yeongnam.com/web/view.php?key=20250623020197645>

## 06 週間スポーツニュース

韓宮、小・中・高障害者体育教科書に登録・・・ 体育教育パラダイム転換

<https://www.sportsworldi.com/newsView/20250623508573>

京畿道、「体育機会所得」支給対象 範囲拡大・・・7月から受付

<https://www.kyeonggi.com/article/20250623580030>

「体育予算」削減、民主党の西区議員を糾弾

<https://www.kukinews.com/article/view/kuk202506230039>

「政府が変わる度に体育政策が右往左往・・・」学校体育「全人教育」が必要

[https://www.hani.co.kr/arti/society/society\\_general/1204104.html](https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1204104.html)

茂朱体育施設の全国体育人たち「親指を立てる」・・・各種大会が相次いで開かれる

[https://www.pressian.com/pages/articles/2025062209275002235?utm\\_source=naver&utm\\_medium=search](https://www.pressian.com/pages/articles/2025062209275002235?utm_source=naver&utm_medium=search)

光州市体育会、国際スポーツ交流国費公募選定

<https://gj.newdaily.co.kr/site/data/html/2025/06/21/2025062100063.html>

警戒虚文障害者・非障害者・・・京畿道オウリム体育大会閉幕

<https://www.kyeongin.com/article/1743794>

健康な老後を・・・釜山市第45回老人生活体育大会

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20250620019700051?input=1195m>

キム・ジンギョン京畿道議会議長「生活体育も日常の楽しみにならなければ」

<https://www.asiatoday.co.kr/view.php?key=20250622010010569>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。  
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>